

事業の概況

■緩やかな景気回復基調で推移

当連結会計年度(2014年1月1日～2014年12月31日)におけるわが国経済は、消費税増税前の駆け込み需要とその反動もありましたが、緩やかな景気回復基調で推移しました。

このような経済状況にあって国内企業のIT投資は、1月～3月期にWindows XPの買い換え需要に伴うシステムの更新や消費税増税前の駆け込み需要がピークを迎え、好調に推移しました。その後は、Windows XPの買い換え需要の反動でパソコンの国内出荷の前年割れが続くなど一部に弱さもみられましたが、IT投資全般としては概ね堅調に推移しました。

■4月に上方修正した計画を達成

以上のような環境において当社グループは、「お客様の目線で信頼に応え、総合力でオフィスを元気にする」を2014年度のスローガンに掲げ、3月までの需要のピークに備えパソコンやオフィスサプライ商品の在庫を確保し対応を行いました。また、受注量拡大への対応を目的とした大型物流センターを稼働し、Windows Server 2003のサポート終了に向けた業務アプリケーションサーバーの移行支援サービスを開始しました。そして、これまで以上に複合システム提案・総合提案に力を入れ、コスト削減や生産性向上による競争力強化につながるシステム提案、節電対策に有効な提案を積極的に行いました。

併せて、魅力あるオフィスサプライ商品の品揃え、企業活動の生産性向上や負荷軽減を支援する保守サービスメニューの開発など、ストックビジネスの強化も図り、4月に上方修正した計画を達成し増収増益とすることができました。

景気は緩やかな回復基調
IT投資は堅調に推移

複合システム提案、総合提案
コスト削減、生産性向上提案

■売上高6,000億円超え、過去最高益を更新

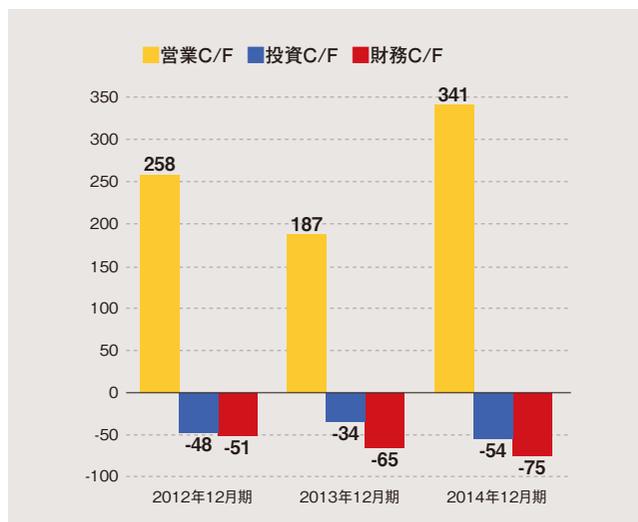
以上の結果、当連結会計年度の売上高は6,057億66百万円(前年同期比7.3%増)となりました。利益につきましては、増収に伴う売上総利益の増加により、営業利益370億97百万円(前年同期比9.4%増)、経常利益381億44百万円(前年同期比13.8%増)、当期純利益234億55百万円(前年同期比15.7%増)となりました。

(単位：百万円)

	2013年12月期	2014年12月期	
	金額	金額	増減率
売上高	564,595	605,766	+7.3%
営業利益	33,901	37,097	+9.4%
経常利益	33,505	38,144	+13.8%
当期純利益	20,271	23,455	+15.7%

■キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)



営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が増加したことなどにより341億30百万円(前年同期比153億50百万円増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、ソフトウェアの取得による支出が増加したことなどにより、54億10百万円(前年同期比19億41百万円増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額が増加したことなどにより、75億80百万円(前年同期比10億19百万円増)となりました。

四半期別の概況

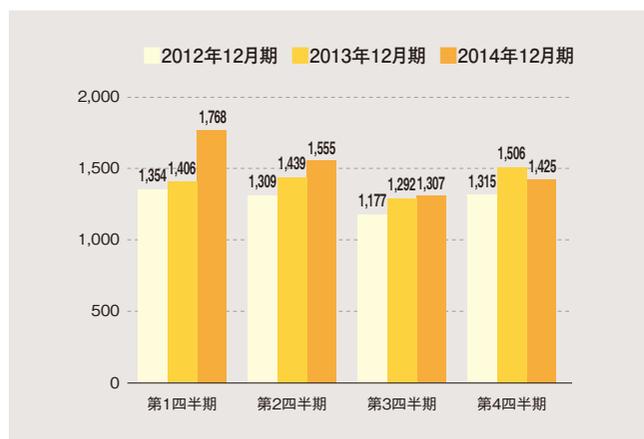
■売上高の推移

売上高は、第1四半期(1~3月)は高伸長、第2四半期(4~6月)、第3四半期(7~9月)とも増収となりましたが、第4四半期(10~12月)は減収となりました。

第3四半期(7~9月)売上高は、1,307億99百万円(前年同期比1.2%増)となり、第4四半期(10~12月)売上高は、1,425億55百万円(前年同期比5.4%減)となりました。

売上高の四半期推移

(単位：億円)



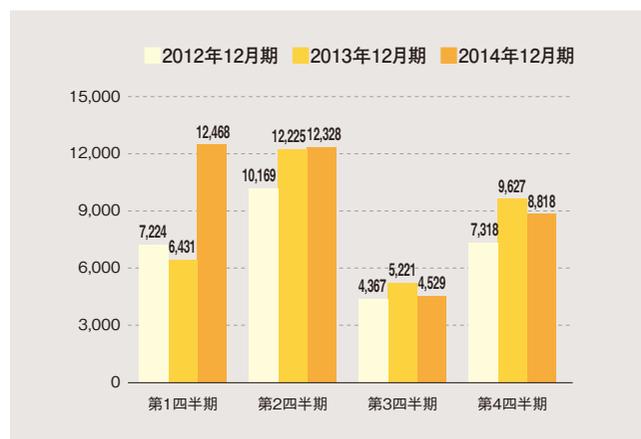
■経常利益の推移

経常利益については、第1四半期(1~3月)は高伸長、第2四半期(4~6月)も増益となりましたが、第3四半期(7~9月)以降は減益となりました。

第3四半期(7~9月)経常利益は、45億29百万円(前年同期比13.3%減)となり、第4四半期(10~12月)経常利益は、88億18百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

経常利益の四半期推移

(単位：百万円)



事業セグメント別の概況

■システムインテグレーション事業

コンサルティングからシステム設計・開発、搬入設置工事、ネットワーク構築まで最適なシステムを提供するシステムインテグレーション事業では、1月～3月期を中心にWindows XPの買い換え需要に伴うシステム更新需要を確実に捉え、その後はXP買い換え特需の反動もみられましたが当連結会計年度ではパソコンやサーバーの販売台数を伸ばし、また複写機の販売台数についても堅調に推移し、売上高は3,620億68百万円(前年同期比9.0%増)となりました。

■サービス&サポート事業

サプライ供給、ハード&ソフト保守、テレフォンサポート、アウトソーシングサービス等により導入システムや企業活動をトータルにサポートするサービス&サポート事業では、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」において、4月の消費税増税の前後に一部影響を受けたもののその後は堅調に推移し、当連結会計年度では「たのめーる」と保守等ともに前年同期比増とし、売上高は2,433億16百万円(前年同期比4.9%増)となりました。

■その他の事業

その他の事業では、売上高は3億81百万円(前年同期比42.1%減)となりました。

事業セグメント別の売上高推移

(単位：百万円)

